

「免疫力アップ」に重点をおき生活し、
アトピーがほぼ完治、鼻炎が改善された方の手記。

「信頼できる先生に出会って（アトピー・鼻炎手記）」

中山三郎 79歳

2016年2月10日

日々の健康維持、自己の病質に対する免疫力を重点課題とした指導と診療、投薬、心より感謝しております。

1、初診日 2014年11月8日

2、病状、経過等

・鼻炎は約20年来、大阪医科大学や市内の医者様にお世話になり、点鼻薬、投薬等で忍んできましたが、納得のいく体調を維持できず、特に冬季は咽の痛みがきつく苦しんできました。

・一方、5年ぐらい前から秋から冬季に発生する尋常性乾癬で毎日入浴後、足を中心に赤腫と全身の痒みの手当に時間を削る毎日でした。

3、受診後の経過

① 2種類の漢方薬と調剤を頂き毎食前・食後の投薬を1年6カ月ご指導通り続けました。その間食物の制約（炭水化物、糖分の摂取を極力減らす）と野菜、魚、肉を重点とした食事を心掛け一時は体重が7kg減少したり、症状の再発も一時ありました。昨年10月頃には皮膚炎は90パーセントなくなり、鼻炎の量も減少しました。（血液検査結果と先生への質問を基にした自己判断）

思えば症状の起伏はありましたが、先生に報告の上、皮膚の投薬はしておりません。現在は気温、湿度に関係なく過ごせ感謝の毎日です。

②鼻炎の投薬はお願いしており、量は減少しています。その反面、自己の年齢により完治は無理と考えていますが、外出時の手洗い、ウガイ、のど飴は投薬

と併せて実行しています。量の減少、のどの痛みの減少は漢方薬と先生のポイントを得た指導、指示の結果と感謝しています。

結論

先生の言葉にある「免疫力アップ」について。患者として自分の生活（衣・食・住・環境）の中で、免疫力アップを考えて且つ工夫する事が、免疫力アップへの一番の近道だと考えています。

御礼

私は初診から6カ月ご長男（副院長）様にお世話になりました。私が80年生かしていただいた中で、副院長様のように患者に対する心温かい聞き方、話し方をされる方に出会ったことはありません。初めて内容を納得でき信頼できた方です。副院長様との出会いが最も重要な要因だったと毎日、自分の心の中で大切にさせていただいております。

治療以外に人間同士の信頼と調和についてもずいぶん勉強させていただきました。